

アグリ筑西



朝晩は寒い日が続いております。
体調に気をつけて作業しましょう。



2014 5月号

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979

コギク専門部、活動開始です！！

JA 北つくば花き部会コギク専門部は、3月26日と28日に筑西市および桜川市コギクほ場において、初期管理現地講習会を行いました。

5月～6月出荷のハウス栽培と6月～7月出荷の小トンネル栽培における今後の管理について、講習を行いました。ハウス・小トンネルともわき芽の発生にバラツキが大きいので、整枝作業を丁寧に行うことを確認しました。



8月以降出荷の親株・育苗管理についても、白さび病を絶対に発生させないように、また、アザミウマ類の被害を受けないよう、適正な管理と適期の防除を呼びかけました。

筑西市および桜川市のコギクが銘柄産地として維持発展できるよう、コギクの高品質生産とコギク専門部活動を支援していきます。



イネ縞葉枯病の発生に注意！！

県の県西地区を中心にイネ縞葉枯病の発生が増加しています。県病害虫防除所によると、本年は、発病の要因となるヒメトビウンカ(図1)の発生が多いと予想されています。被害が大きくなると大幅に減収する可能性が高くなるので、以下の適切な時期に防除を実施しましょう。

移植時期に適用のある育苗箱施薬を処理してください。また、ヒメトビウンカは麦跡の圃場から水田に飛来するので、麦の収穫期の6月上旬～中旬、第二世代幼虫が発生する6月下旬～7月下旬に適用のある薬剤を処理して下さい。発病後は効果が低いので、早めの防除を心がけてください。

※防除方法や薬剤についてのお問い合わせは、普及センターか、JAへお願いいたします。



図1 ヒメトビウンカ

あなたの地域から広がる、農作業安全

－3月～5月は「春の農作業安全確認運動」実施期間です－



農作業死亡事故は全国で毎年約400件も起きており、他産業と比べても非常に多く発生しています。特に春は、収穫作業が立て込む秋と並び、事故が多発する時期です。

農業者の皆さまにおかれましては、安全対策を十分に行ったうえで作業をするようお願いいたします。



農業学園生募集中！！

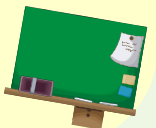
実習風景(農作業安全研修)



普及センターでは主に就農して間もない方を対象に、農業の基礎知識・技術や先進事例を学ぶ農業学園を開催しています。講義や現地研修をとおり、栽培技術や農薬の適正使用、土づくり等、毎年異なる10回程度の講座を実施しています。農業を学ぶだけでなく、地元でどんな農業が行われているかが分かったり、同年代の人との交流や情報交換をする良いきっかけにもなります。

農業学園でみんなと楽しく学んでみませんか？皆さんの参加をお待ちしています！

詳細は普及センターまでお問い合わせください。



経営・普及部門(普及センター)26年度の体制について

☆印は今年赴任した職員

部門長 柳橋 泰 (作物)

経営課 (全域担当)

課長 吉川 勇 (果樹)
主査 助川 修
(経営及び流通)
専門員 宮城海代子
(アグリビジネス)
技師 川崎静香 (花き)
技師 阿久津理 (一) ☆
臨職 藤掛貴代

地域普及第一課 (筑西市担当)

課長 野口敬命 (野菜)
専門員 大輪和幸 (作物) ☆
専門員 岩瀬明人 (野菜) ☆
専門員 鈴木秀文 (果樹)
技師 針谷若菜 (果樹)
嘱託 大畑 明

地域普及第三課 (下妻市担当)

課長 神原幸雄 (野菜)
副主査 篠原三男
(アグリビジネス)
副主査 保坂光良 (果樹) ☆
専門員 谷田部隆 (畜産)
技師 加川敬祐 (果樹)
嘱託 桜井鎮雄

地域普及第二課 (桜川市担当)

課長 山中茂美 (作物)
専門員 木村宏明 (野菜)
専門員 佐藤真里 (花き)
技師 柴原裕介 (野菜)
技師 稲毛田優 (作物)

今年度はこのメンバーで頑張ります。よろしくお願いたします。

普及員のひとごと

～阿久津 理～

4月から新規採用職員として筑西普及センターに配属されました阿久津 理(ただし)です。

生まれ育った県北の中山間地と比べて、広大な田畑が広がる筑西の大地に圧倒される毎日です。

まだまだ未熟な部分が多いですが、早く皆様のお役に立てるように努力して参ります。よろしくお願いたします。



～編集後記～

初めての編集作業は、まさに悪戦苦闘でした。これからも皆様に見やすい紙面作りを目指します！ご意見お待ちしております。(阿久津)

皆様からのご意見・投稿情報お待ちしております。